

# ■ 「話し合い」の手引き

## ■ どんな話し合いがあるの？

### 1 協力するための話し合い

実験や観察などをグループで協力して行う際には、あらかじめよく話し合いをすることで、誰が何をするのかといった役割分担が明確になり、スムーズに実験や観察が行えます。また観察するポイントなどもあらかじめ分担しておくことで、みんなが同じ所を見るなどの重なりを避けることができます。

### 3 考えるための話し合い

実験や観察の結果に基づいて考えを深める際、一人で考えるのではなくグループで考えを出し合って検討することで、自分一人では考えにくい時、他の人たちの考えを支えにして自分の考えを持つことができたり、他の人の考えと比べてみることで自分の考えの良いところや間違った点がはっきりし、自分の考えを深めることができます。

### 2 伝え合う話し合い

実験や観察を通して発見したり考えたりしたことを伝え合う話し合いを行うことで、自分が気づかなかったことを知る機会や他の人の考えを聞く機会ができ、自分の理解や考えを広げたり深めたりすることができます。



## ■ どう話せばいいの？ どう聞けばいいの？

- 聞くときは自分の考えと比べて聞こう。
- 今、報告しているのか、説明しているのか、主張しているのか、よく考えて話そう。
- 何に基づいて考えたのか（根拠）、なぜそう考えたのか（理由）などをはっきり。
- 様子を伝えるときには、くわしく伝わるように言葉を選んで話そう。

## 話し合いに参加する方法

### 自分の意見や他の人の意見に目を向けて

- a 質問 (〇〇さんに質問ですが～)
- b 反対 (〇〇さんに反対ですが～)
- c 補足 (〇〇さんに付け足しですが～)
- d 解釈 (〇〇さんはこういうことを言おうとしているのだと思います。)
- e 要求 (〇〇さんに～ということを聞いてみたいのですが。)

### 話し合いの流れに目を向けて

- a 提案 (今話し合われていることに対して～のように考えることもできます。)
- b 説明 (今の考えを説明すると～のようになります。)
- c 整理 (今の話し合いは結局、～の点で対立していると思います。)
- d まとめ (結局～ということです。)
- e 統合 (二つの意見を合わせると～になると思う。)

## いろいろな質問を持って話し合いに参加しよう

### 予想を立てる

- ・もし～なら、何が起こりますか？
- ・～の原因は何だと考えますか？

### 比べてみる

- ・～と～の違いは何ですか？
- ・～と～はどのように同じなのですか？

### 関係を考える

- ・～は～に、どのような影響を与えますか？
- ・～は～に、どのようなことをもたらしますか？